

## 【参考資料】

## BNP パリバ・カーディフ、2024 年末までにインパクト投資を 115 億ユーロに拡大

2020 年 7 月 6 日 (フランス・ナンテール発)

- BNP パリバ・カーディフは、環境や社会にポジティブな影響をもたらす活動に 50 億ユーロを追加投資し、2024 年末までにインパクト投資総額を 115 億ユーロに拡大します
- 社会的責任投資方針の適用を全ての運用資産に拡大し、投資を加速させます

2019 年末時点で、フランスにおける BNP パリバ・カーディフのインパクト投資総額は 65 億ユーロにのぼります。このうち環境投資が 37 億ユーロを占め、2020 年までの目標額 35 億ユーロを前倒しで達成しました。BNP パリバ・カーディフは、長期投資家として、社会的責任投資方針の実行およびエネルギー転換に寄与する投資を強化しています。

特に、BNP パリバ銀行のお客さまや独立系投資アドバイザーからお預かりした資産の運用においては、運用実績と社会や環境への貢献度の双方に着目した手法の拡大を目指しています。



BNP パリバ・カーディフ CEO、ルノー・デュモラは次のように述べています。

「私たちはインパクト投資を加速させ、社会的責任投資方針を追求することにより、BNP パリバのお客さまが、その資産を通じて、より環境に配慮し、社会的排除のない未来の形成に貢献できるように努めています。」

## インパクト投資：2024 年までに 50 億ユーロの追加投資

BNP パリバ・カーディフは 2020 年から 2024 年末までの間に、以下の分野に毎年 10 億ユーロを投資します。

- **グリーンボンド**：気候変動の緩和、気候変動への適応、天然資源の保護、生物多様性の保護、環境汚染の防止と規制など、環境目標を設定した事業への投資
- **SDG ボンド 1**：国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に寄与する事業への投資
- **環境関連ファンド**：エネルギー転換、エネルギー効率化、持続可能な食糧供給と農業、廃棄物管理など
- **雇用関連ファンド**：働く環境の改善、雇用創出、インクルージョンなど
- **ソーシャル関連ファンド**：教育、持続可能なモビリティサービス、顧客満足、社会経済および連帯経済など
- **不動産資産**：環境性能証明書を取得または広く認められている規格に準拠した不動産、および/または雇用や社会全般に対して好影響をもたらす不動産への投資

フランスにおける BNP パリバ・カーディフの一般勘定資産のうち、上記分野に対する 2019 年 12 月 31 日時点の投資額は、前年度比 31% 増の 65 億ユーロに達しています<sup>2</sup>。

BNP パリバ・カーディフは、この新たな目標のもと、インパクト投資を今後 5 年間で約 77% 増やし、2024 年までに 115 億ユーロに拡大する計画です。



**BNP PARIBAS  
CARDIF**

The insurer  
for a changing  
world

## BNP パリバ・カーディフの社会的責任投資方針

フランスにおいては、BNP パリバ・カーディフは契約者からお預かりした資産を一般勘定資産で運用しています。2019 年 12 月 31 日時点の運用資産残高は 1,230 億ユーロにのぼります。この一般勘定資産で直接保有している資産は、環境、社会、ガバナンス(ESG)基準に則り投資判断を行っています。

また、BNP パリバ・カーディフでは、ユニットリンク型投資を提案しており、その総額はフランスにおいて約 400 億ユーロにのぼります。社会的責任投資(SRI)銘柄に認定されたユニットリンク商品に 67 億ユーロを投資しており(2019 年末時点)、このうち 43 億ユーロは独立機関<sup>3</sup>が認定する SRI 銘柄です。

### 脱石炭火力の実行計画の見通し

BNP パリバ・カーディフは、2018 年以降、石炭火力発電が発電全体の 30%以上を占める電力事業、および石炭を燃料とする発電から 10%以上の収入を得ている採掘事業への投資を全て中止しています。

BNP パリバが 2020 年 5 月に公表した前倒し計画に基づき、BNP パリバ・カーディフは、石炭燃料セクターに含まれる全ての採掘、探査事業および発電事業への投資から、OECD 加盟国においては 2030 年までに、全世界では 2040 年までに完全に撤退します。



BNP パリバ・カーディフの副 CEO および資産運用責任者、オリヴィエ・エレイユは次のように述べています。

「新型コロナウイルスによる危機は、地球的規模での気候問題の深刻さを認識する重要な転機になると想っています。人々の健康は、気候変動や生物多様性の保護、人権の尊重と同様に重みをもつ懸案事項です。これらの問題は全てが相互依存の関係にあります。どれかひとつを考えるのではなく、全てを考慮しながら取り組む必要があります。」

BNP パリバ・カーディフの CSR 戦略およびフランスのエネルギー転換法 173 条に基づいた報告書に関する詳しい情報は、[bnpparibascardif.com](http://bnpparibascardif.com) でご覧いただけます。

#### 用語説明

- ・**責任投資(Responsible investment)**: 環境、社会およびコーポレートガバナンス(ESG: Environment, Social and Governance)基準、社会的責任投資およびインパクト投資に適合する投資を意味する広義語
- ・**社会的責任投資(Socially Responsible Investment)**: 投資先選定において、ESG 基準の中からテーマを設定し、それに対する取り組み／あるいはそれを排除していることを評価基準に組み込んだ投資。条件を満たしたファンドは SRI ファンド認証を受けることができる
- ・**インパクト投資(Impact investing)**: より狭義の意味を表すもので、社会や環境に対するポジティブかつ測定可能なインパクト創出の可能性が投資先としての選定理由であるとの明示が求められる投資

1. SDGsの達成への貢献の指標に連動した債券

2. BNPパリバ・カーディフは、2018年に設定したインパクト投資の適用範囲を2019年に変更しました。新たな適用範囲では、ESG基準に適合する明確なポジティブ・インパクトが特定できないファンドは含まれないこととしています。

3. 欧州の数か国で運営されている独立機関がこれらの認証ラベルを発行し、定期的に認証条件を満たしているかを検証しています。

4. 出典 : Finaccord

※この資料は、2020年7月6日にフランス・ナンテールで発表されたニュースの抄訳です。



**BNP PARIBAS  
CARDIF**

**The insurer  
for a changing  
world**